

# 緊急事態宣言下における 東京都議会議員のTwitter・ブログでの発言まとめ

2020年津田塾大学総合政策学部中條2年セミナー

## 【今回実施した調査について】

緊急事態宣言下である2020年4月7日~5月25日の期間において、**全議員**、**23区か否か**、**男女別**、**年代別(20代~70代)**、**所属会派別**とそれぞれグループ化してRでテキストマイニング\*<sup>1</sup>を行い、ワードクラウド\*<sup>2</sup>を作成した。ここでは特徴が分かりやすかった**全議員のTwitterとブログ**、**23区か否かのtwitter**の比較結果を紹介する。

\*<sup>1</sup>テキストマイニング: 文章の中から指定した条件に当てはまる言葉を得ること。

\*<sup>2</sup>ワードクラウド: 文章から出現頻度が高い単語を選び出し、その頻度に応じた大きさでいくつかの単語をまとめるとして図示するもの。

## 【全議員のTwitterとブログ】



図1 全議員 twitter



図2 全議員 ブログ

上記は、調査期間の緊急事態宣言下において**東京都議会の全議員**が、twitter(左)、ブログ(右)を使用して行った情報発信内容についての分析結果である。

## 【特徴】

- 全体的に**新型コロナウイルス関連の単語**が多くを占めている。
- 最頻出単語の「**東京**」をはじめとし、多くの頻出語は**東京都との関係が深い単語**である。  
⇒ 東京都に関する新型コロナウイルス関連の情報発信が主になされていたことがわかる。

## 【相違点】

- Twitterでは、「**支援**」「**検査**」「**都議会**」「**事業**」「**医療**」「**給付**」「**協力**」といった単語の利用率が高い結果となった。
- ブログでは、「**子ども**」「**学校**」「**保育**」「**教育**」など子育てや学生に関する単語、「**経済**」「**生活**」といった単語の利用率が高い結果となった。  
⇒ Twitterとブログにおいて、話題としては共通していても、具体的な発言内容にやや違いが見られると言える。

